

「余っている」のに「足りない」というアンバランス。2つの課題をマッチングして食に困る人をなくしたい。

# フードバンク関西ニュース FOOD BANK KANSAI NEWS

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

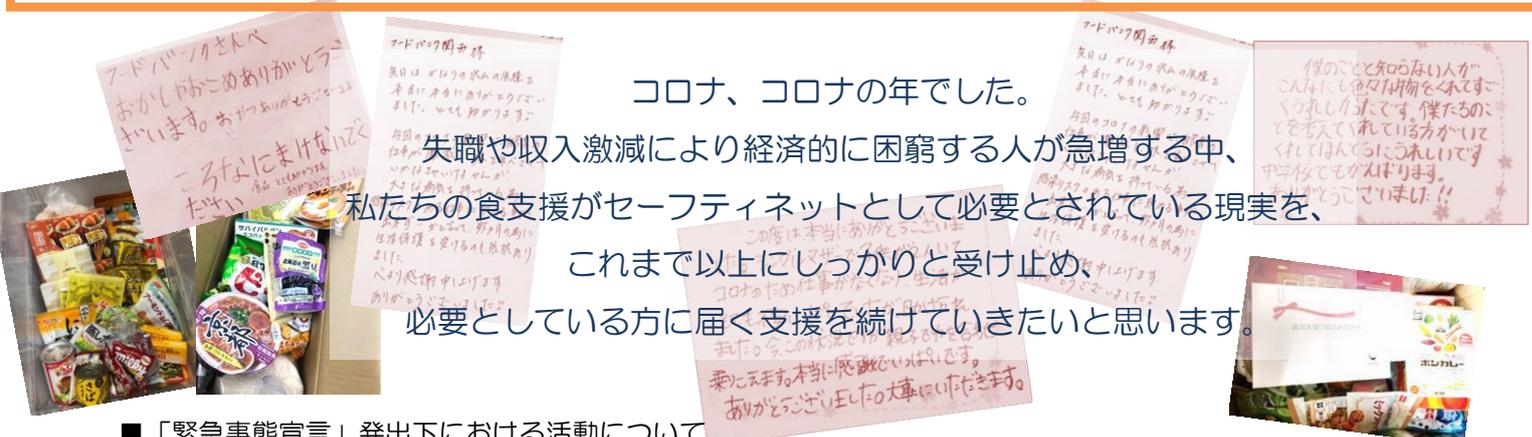
<https://foodbankkansai.org/>

神戸市東灘区深江本町1-8-16 バレル芦屋101

TEL : 078-855-7025 info@foodbankkansai.org



vol.  
**44**  
2021.05



## ■「緊急事態宣言」発出下における活動について

1回目（2020年4～5月）、2回目（2021年1～3月）、3回目（2021年4月～）のいずれの場合も、活動の縮小を実施しました。私たちボランティアが感染しないこと、また感染源にならないことが活動の大前提であることから、食品のデリバリーは原則休止し、事務所に引き取りに来る受け取り団体への配布のみにしました。企業などからの食品の受け入れは、郵送または配達のみを受け付けました。一方、命に係わる緊急な食支援要請に応えるため、事務所には最小人数のスタッフが待機しました。今後も同様の方針ですが、事態の推移に沿った判断をしていきます。

## ■緊急食支援「食品パック」プロジェクトを実施しました。

感染拡大防止を目的に、各種の自粛、店舗の休業などが増加し、失職や収入激減により生活に困窮する人が増えている実態が表れてきたため、数日分の食料を詰めた「食品パック」を宅配便で送付する緊急食支援を年度内に3回実施しました。

1	「コロナ禍緊急食支援プロジェクト」(2020年5～6月実施)		
	配付世帯	人数	配付食品量
	1,214世帯	4,323人	12トン
2	「ひとり親支援食品パックプロジェクト」(2020年12月実施)		
	配付世帯	人数	配付食品量
	504世帯	1,346人	6トン
3	「進級・進学応援食品パックプロジェクト」(2021年3月実施)		
	配付世帯	人数	配付食品量
	273世帯	928人	3トン

## ■個別の支援要請の問い合わせが急増しています。

コロナ禍を受けて、個人世帯に「食品パック」を送付する直接食支援の取り組みを進めた一年でした。口コミやSNS、メディアなどで情報が拡散した影響もあり、個人からの要請が増加してきました。行政と連携して行っている「食のセーフティネット」とあわせて、命をつなぐ食支援を継続していきます。



一般の支援要請

81件



(前年度比  
13.5倍)

食品の回収状況

2020年度取り扱い食品総量



251 トン（前年度比25%増）

取り扱い食品総量は、前年を大きく上回りました。

その要因として下記のことがあげられます。

- ①コロナにより消費が縮小し、行き場のなくなった食品があふれたこと
- ②企業の食品ロス削減対策推進
- ③災害備蓄品の入れ替え時期との重なり
- ④困窮する個人への食支援に賛同する企業・個人からの食品寄贈の増加

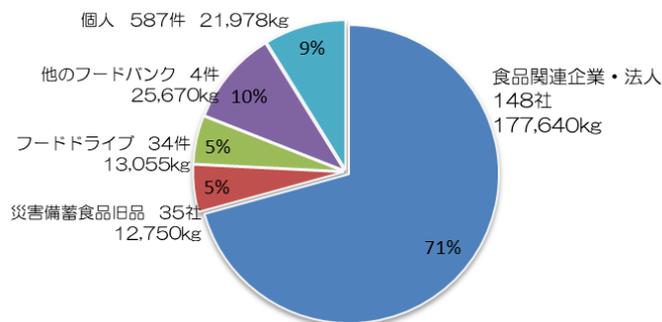
■企業・団体からの食品引き取り

コロナ感染拡大の時期には渉外活動が制限されることもありましたが、3度にわたる困窮者支援の食材提供依頼に多くの企業より余剰食品のみならず正規商品をご提供いただくことができ、SDGsへの取り組みが定着してきたことを実感しました。

■個人からの寄付

個人の寄付のうち、13,810kg（総量の64%）はお米でした。これは、当法人が取り扱う米の50.5%を占め、重要な供給源となっています。また、食品パックプロジェクトの際には、何が必要かを問い合わせてください、食品やお米を購入して寄付して下さる方もありました。

2020年度取扱食品量内訳



食品・災害備蓄食品提供企業



183社

運営費について

企業や個人の方から食品の寄贈を受け、支援を必要とする人達に無償分配するフードバンク事業は収益性はありません。活動運営費は、活動趣旨に賛同して下さる賛助会員年会費、市民や団体からの寄付そして助成金で賄っています。

■賛助会員、個人・企業からの支援

本年度は、賛助会員からの年会費および一般の寄付が、個人、法人を合わせたのべ905件でした。クレジットカードでの継続寄付が増加しており、高額寄付もいただくことができました。

■助成金

「独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成」、「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン フードバンク活動等応援助成」、「BEKOBEミライPROJECT 特別感謝賞」ならびに「ヴィッセル神戸賞」を受けました。また、神戸市のガバメントクラウドファンディングでの補助金、神戸市フードバンク活動支援助成金の受領が決定しました。

■クラウドファンディング

コロナ禍緊急支援プロジェクトで食品パックの宅配料を賄うため、クラウドファンディングでの調達を試みました。1,436,000円（5/25～7/31）の支援をいただき、同時に当法人の活動を広く知っていただく機会になりました。

支援金の種類	合計	個人		法人・団体	
正会員会費	260,000	26件	260,000	0件	0
賛助会員会費	4,799,000	178件	1,763,000	162件	3,036,000
寄付・募金	20,973,725	534件	16,781,413	31件	4,192,312
助成金	4,648,898	0件	0	3件	4,648,898
合計	30,681,623	738件	18,804,413	196件	11,877,210

2020年度収入		2020年度支出		
会費（正会員）	260,000	事業費	食品搬送費	4,145,662
会費（賛助会員）	4,799,000		交通費	1,163,980
一般寄付	20,973,725		賃借料	2,844,000
助成金	4,648,898		その他の経費	6,869,671
その他の収益	1,089,223	管理費		1,405,497
経常収入合計	31,770,846	経常支出合計		16,428,810

## 回収した食品の活用について

## 非営利団体への無償分配

食品を提供している非営利団体（受取り団体）は、支援を必要とする人たちの食を支え、余った食品を有効活用してフードバンク事業を支えてくださる私たちの大切なパートナーです。当法人の取扱い食品のうち約6割強をこれらの無償分配に活用しています。

食品提供団体 **144** 団体（うち新規 **22** 団体）

## 子ども元気ネットワーク事業

困窮するひとり親世帯を支援する本事業では、対象世帯への食品パックの宅配を毎月行っています。

支援世帯 **77** 世帯（2021年3月末時点）

新たな連携団体として、NPO法人「a little」「子どものみらい尼崎」、一般社団法人「こどもサポート財団」、「食deつながろ」が加わり、14団体となりました。各団体と連携を広げ、情報を交換する中で、必要とされる支援の内容や方法などの課題も見つけ、支援の質の向上につながっています。また、埋没しがちな困窮世帯への支援のきっかけとして、子ども元気の食支援の果たす役割が小さくないことも、ネットワークの中で認識されるようになってきています。

支援世帯の条件について見直し整理をしました。

- ・児童扶養手当全額支給かそれと同等の経済状態の世帯
- ・小学生以上19歳未満の子どもが1人以上いる世帯
- ・支援期間は最長1年間
- ・送料分担（月250円）

また、個人や企業の強力なサポーターがいることがこの事業の強みです。今後も応援の輪を広げて、支援数の拡大、質の向上を目指していきます。



子どもからのお礼コメント 個人篤志家様からの寄贈

## 食のセーフティネット事業

事業協定を結んだ行政や民間事業所、あるいは個人からの緊急の支援要請を受けて、1人当たり数日～1週間分の「食品パック」を無償提供しています。困窮状態の中でひとまず食を得て、次の解決策に向かえるよう支援する取り組みです。

事業協定先／尼崎市、高砂市、社会福祉協議会（芦屋市、西宮市、伊丹市、宝塚市、三田市、加東市、猪名川町、神戸市）、兵庫県郡部12町を対象地域とする1民間事業所

年度(4月～3月)	2018年度	2019年度	2020年度
支援件数(件)	603	666	876
支援者数(人)	965	1227	1615

## 「食品パック」プロジェクト

コロナ禍の緊急食支援として、本年度から取り組みを開始したプロジェクトです。（1ページに詳報）



食品パックの一例

食のセーフティネットとしてのフードバンクの存在を広く社会に示すことができ、食品ロスの活用についても知っていただくことができたと感じます。食べ物を受け取った世帯には、空腹を満たす以上に安心感を届けられたと思います。また、そのような親や子どもたちの喜ぶ様子を知ることができ、ボランティアの活動へのモチベーションにつながりました。

## 子ども食堂支援事業

感染予防のため、子ども食堂の開催が困難になりましたが、弁当や食材の配布という形で継続する団体もあり、必要な支援を行いました。2017年からネットワークの事務局を担ってきましたが、社会的認知の拡大などを受け体制を見直し、来年度より一般社団法人ポノポノプレイスと分担して事務局を担います。

## 2021年度取り組み課題

## 食品（特に米）の安定確保

当法人受取り団体への食品の提供に加えて、困窮する個人世帯に対する直接の食支援が増大しています。それに対応するため、主食やおかずとなる常温品を提供して下さるよう企業への働きかけ、フードドライブを含む個人への呼びかけを強化していきます。

特に必要量のお米の確保は最重要課題であり、個人からの寄付に頼るばかりでなく、農家や農業組合などの理解を得るよう努め、継続的に入手する方法を開拓していく必要があります。

## 他団体や企業との連携による事業の拡充

フードバンク関西からの食支援を、支援を必要としているより多くの人たちに届けられるように、また、支援が必要な人を点ではなく、多方面から支えることができるよう、関係各機関と日常的にコミュニケーションを図り、互いの事業に相乗効果をもたらすよう連携を強化していきます。

## 食品管理システムの改善と作業の効率化

昨年より着手している入出庫管理システム導入にあたって、より適正な入出庫管理とボランティアの作業の軽減を目指し、システム設計段階から業者との話し合いを重ね、使いやすく効率のよいシステムを完成させ、適宜修正を加えながら新システムでの入出庫作業、在庫管理を軌道に乗せていきます

# Event news

2021  
01/25

## 食品衛生管理適合認定



日本フードバンク連盟の衛生管理監査を受けました。その結果、日本フードバンク連盟の衛生管理基準を満たしていると認められ認定書を受領いたしました。当法人の日ごろの適切な食品管理が認められましたが、それを継続するとともにさらに改善をし、フードバンク事業に信頼を得るよう努めてまいります。

2021  
01/26

## 神戸市環境功労賞受賞



廃棄してしまえば環境に負荷を加えることになる、様々な理由で余ってしまった食品。それを必要な人たちにお届けすれば、命を繋ぎ元気を取り戻せます。みんながハッピーになるフードバンク活動をもっともっと広めていきたいです。

2021  
03/07

# Event news

## いのちとくらしの映画祭



今年で第3回目となる映画祭&講演会を、今年も実行委員会の一員として主催しました(神戸市教育会館)。今回の映画「パブリック 図書館の奇跡」は、様々なテーマを投げかけつつも、ストーリーが楽しめて、特にラストシーンは思わず笑ってしまい、ホッと和ませてくれる内容でした。講演会は、京都大学人文学科研究所准教授 藤原辰史さんを講師に迎え、コロナ禍の今を生きる上でヒントになるお話が伺えました。

2021  
03/24

# Event news

## ホームページリニューアル

従来のサイトのコンテンツを整理し、不足していた情報を追加するなどし、必要な情報にたどりつきやすくなっています。また、協力してくださる企業・



連携団体のサイトにもリンクを貼って、連携の広がりにも役立つように仕組みを改めています。活動をよりご理解いただけるよう、さらに積極的に情報発信していきます。

誰もが食べ物を得られる社会のために、みなさまのご支援をお願いします。  
クレジットカードから手軽に寄付ができます！

- 公式ホームページから <https://foodbankkansai.org/support/donate/donate-money/>
  - 郵便振替は窓口にて 口座番号00990-7-333141
  - 銀行振込 三井住友銀行芦屋駅前支店 口座番号4032415
- ※いずれも口座名義は「特定非営利活動法人フードバンク関西」



！毎月2,000円のご寄付で！

一時的な困窮世帯へ1週間分の食品パックを届けることができます。

！毎月3,000円のご寄付で！

支援を必要とするひとり親世帯1世帯に食品パックを宅配で届けることができます。



↑↑こちらからもお申込みできます。